# 第３期清水町健康増進計画策定委員会第１回会議録（要約）

日　時　：　令和5年12月15日、15 時 00 分～16 時 20 分
場　所　：　清水町保健福祉センター　1階ふれあいホール

出席策定委員：田中瑞恵、上谷明美、藤川淑子、青沼悠里、 町民生活課長（奥田啓司）、
学校教育課長（渋谷直親）

町出席者：町長（阿部一男）

事務局）保健福祉課長（藤田哲也）、健康推進係長（倉重千晶）、保健師（岡恵梨、遠藤加奈、
和嶋寧音）、栄養士（西久保ほなみ）、在宅支援係長（寺本圭佑）

傍　聴　者：なし

**１　開　会**

**２　委嘱状交付**

委嘱状については他の書類とともに机上に事前に配布
各委員の紹介

**３　清水町長挨拶**

第３期健康増進計画策定委員会の第１回の策定会議に参加いただきましてありがとうございます。また、皆様には策定委員を快くお引き受けいただきありがとうございます。

近年は「超高齢化時代」と言われております。その中で本町では「健康寿命の延伸」を総合計画の中で目標に掲げながら各種事業を取り組んできています。特に、昨年度からは、特定健診の基本受診料の無料化を図り、受診率の向上に努めているところであり、昨年度の受診率は３９・９％と、前々年度の３２．３％を上回り、十勝管内市町村の受診率順位も昨年の１９位から１６位に上がったところでございます。せっかく受診しやすい状況をつくっているので、受診率が 40～50％くらいに上がると更にいいと思っています。

また、最近は、コミュニケーションが希薄となりがちで、孤独感や生きずらさを感じている方も多くなっております。町といたしましては、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた健康づくりの政策を進め、町民誰もが、体も心も健康で暮らしていただけるよう町づくりを進めてまいります。

最近は健康寿命と合わせて「幸福感」のある「幸せ寿命」を皆さんで享受して頂き、安心して清水町で暮らしてもらえるといいと考えているところです。

委員の皆様には、第３期となります健康増進計画の策定にあたり、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、私からの挨拶といたします。

（町長挨拶終了後、保健福祉課長より事務局担当職員の紹介）

**４　議　事**

**(1) 策定委員会について**

**ア　委員の任期・役割について**（倉重係長より説明）

任期は計画策定終了まで。来年１月中旬に第２回策定委員会開催予定。
２ 月に計画を公表し、町民からの意見を募集。その際、町民からの意見提出あり、計画修正等が必要になった場合は第３回策定委員会を開催。
３月に計画策定終了後、策定委員会委員長より町長に答申し、計画を公表する。
委員の役割は第3期清水町健康増進計画の策定作業であることを説明。

**イ　委員長・副委員長の選任（互選）について**

町長より委員長･副委員長の選出について諮り、委員長に田中瑞恵委員、副委員長に上谷明美委員が選出され、委員の確認を得た。

**⑵諮問について**

町長より田中委員長へ諮問書を提出した。（以降、田中委員長が進行を務めた）

**⑶第３期清水町健康増進計画について**

**ア　第３期清水町健康増進計画の概要について**

**序章「計画改定にあたって」P2～3**
**第１章「清水町の概況」P4～15**
**第２章「計画の基本的な考え方」P16**

計画改定の趣旨、 位置づけ、期間、対象、清水町の健康の概況と前期計画について倉重係長より説明。

【質疑等】

問： 前期計画の評価が 14 ページにあるが、この他にも評価をするための取り組みはあったのか？
答： 15 ページに評価表がある。データで達成状況を評価している形なので、これが全て。
問： こういった委員やパブコメで、この評価を町民の方々に見て頂いたということか？
答： 評価の公表や会議はしていない。
問： 評価はこの先もしないが、計画を立てるのできいてね、ということか。
答： この策定会議の中で、この評価も含めて審議して頂きたい。
数値で評価するのが国の方針。評価そのものが数値化されたものなので、町民や委員さんに改めて評価の数値をどうかときくことはしない。
問： 評価に使っている実績値、例えば飲酒やタバコなどはどういったデータをもとにしているのか。
答： この後の健康課題別の実態の中でも、それぞれ何のデータを使っているかが出てくるが、主なものとして、健診受診者の問診票データ、妊娠届け出時や乳幼児健診時のデータがある。

**イ　第３章課題別の実態について**

**第１節　生活習慣病の予防　P17～34**

「1　がん」「2　循環器疾患」「3　糖尿病」「4　慢性閉塞性肺疾患」
について、和嶋保健師、遠藤保健師　より説明

【質疑等】

なし

**第２節　生活習慣の改善　P35～44**

「1　栄養･食生活」「2　身体活動･運動」「3　飲酒」「4　喫煙」「5休養」について西久保栄養士より説明。「5休養」「6　歯･口腔の健康」について、岡保健師より説明

【質疑等】

問：43ページ、3歳児で虫歯がない子が増えているのは、フッ素塗布をしている効果か
答：フッ素塗布だけではなく、妊娠期からの食生活を含めた指導をしている。歯科衛生士がフルタイムで配属されるようになったこともあり、指導に力を入れている。

**第３節　ライフコースをふまえた健康づくり P45～55**

「1　次世代の健康」「2　高齢者の健康」について岡保健師より説明。

【質疑等】
なし

**第４節　生きることの包括的な支援（自殺対策）P56～63**

「1 こころの健康」「資料編 こころの健康意識調査結果を倉重係長より説明。

【質疑等】
なし

**【全体を通しての質疑等】**

問: 町のデータは令和3～4年の最新のものを使っているが、保健所等の数値が少し古いが、それは仕方がなかったのか。

答: コロナ禍の影響などもあり、国や道の公表データの更新が滞っている。現段階で入手可能な最新年度のデータを使っている。

問: 今後、中間見直しなどをする場合にはそれを使っていく予定なのか。

答: その時の直近の公表データを使用していく予定。

**５　第２回策定委員会について**

次回の日程は、令和6年1月24日（水） 15時00～の予定で調整する。決定したら詳細を知らせる。
次回は、本日出された意見を盛り込み、健康課題の実態をまとめ、「対策」「目標値」を入れた計画案を検討する。

【質疑等】

問: 次回の策定委員会の場所はどこか

答: 保健福祉センターで実施。ふれあいホール又は2階研修室を予定している。決定後通知する。

**６　閉会**

田中委員長より閉会の挨拶